長崎県農林技術開発センター　果樹研究部門　　研究トピックス①

温州みかんにおける化学合成農薬を半減した病害虫管理技術マニュアル

カンキツ研究室　主任研究員
菅 康弘

殺菌剤の効果を高める補助剤としてマシン油乳剤を利用，耕種的防除技術および天然物や生物に由来する農薬の利用などによって、温州みかん栽培において化学合成農薬の使用回数を半減する防除体系の技術マニュアルを作成しました。この技術マニュアルに基づき病害虫防除を行なった実証試験では、温州みかんの主要病害虫の被害を実用上問題が無い程度に病害虫の被害を抑制できることが確かめられました。

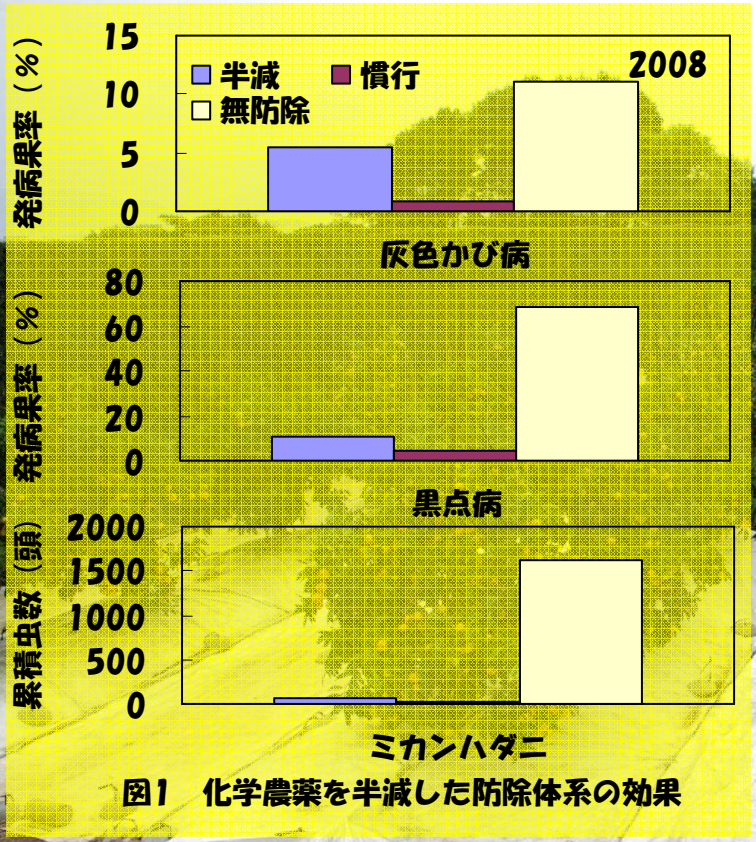

図1　化学農薬を半減した防除体系の効果

写真1　各種害虫の被害を軽減する白色透湿性マルチの全面被覆

表1　化学合成農薬を半減した病害虫管理技術体系の防除経費

防除体系	化学合成農薬の使用回数（成分回数）	薬剤散布 回数（回）	薬剤散布 労賃（円/10a）	防除薬剤費（円/10a）	防除費用（円/10a）
化学合成農薬を半減した病害虫管理技術体系*	7 (0.46)	10 (0.88)	20,000 (0.88)	33,188 (1.26)	53,188 (1.08)
慣行防除体系（2006-2008年実証試験慣行区の平均）	15	11	22,667	26,418	49,085

＊（　）内は慣行防除体系に対する比率